

2014年度 プロジェクトの成果に迫る！

NHK大学ロボコンビデオ審査へ！

「NHK大学ロボコン」2015年大会にエントリーしている「RoCoP (Robot Contest Project)」本戦は6月のため、2014年度の活動は大会の選考途中で終了となる。11月には、ロボットの概要や戦術・戦略、スケジュールなどを示した書類を提出してエントリー。書類審査を経て、第一次ビデオ審査に臨んだ。

軽快な足回りにするには？あらゆるサーブやショットも打ち返すには？試行錯誤が続いた。ビデオ撮影直前、ロボットの足回りが急に動かなくなるトラブルもあったが全力を挙げて修理、課題のサーブもクリアでき、ビデオを提出することができた。



木津川市長に提言！ 活動の経験を活かしたプロデュース プログラム開発！

「プロデューサー養成プロジェクト@木津川市」のメンバーと木津川市の中学生チームとの活動で締めくくられた。12月21日(土)のイオンモール高の原での発表会。7ヶ月間の活動で企画した内容についてステージ発表とポスターセッションを行い、中学生メンバーから河井親子木津川市長に提言書を手渡した。河井市長からは「感動しました。それぞれの企画をひとつにして実施していけるの

ではないでしょうか。みなさんのことを誇りに思います。」とコメントいただき、多数の来場者を迎えて盛況のうちに幕を閉じた。



この活動での経験をもとにプロデュース活動に役立つプログラム「プロデュースおたすけキット アイデア編」を開発し、教育機関などに配付している。



人同士のコミュニケーションを促進する ロボットとは？

「ROBOX」が目指してきたのは、「交流会でのコミュニケーションを促進するロボット」だ。パーティ会場で自由に動き回り、ひとりの人を見つけると近づいて声をかける。あいさつを返すと自己紹介をして「名刺」を差し出してくれる、その名も「メイシー」。

コミュニケーション支援として必要な要素を考える一方で、実装できる機能や自分達の持つ技術力と調整しながら制作を進めてきた。コミュニケーションを取りたいと思ってもらえるよう、ビジュアルにも工夫してなんとか完成にこぎつけた。メイシーがロボットと私たち人間の距離を縮め、ロボットの新たな可能性を見出すひとつのきっかけになればと願う。



ARで楽しく理科実験！アプリ完成！

「ポータブルラボ」が目指してきた「てのひら実験室」。2014年秋、Android版アプリ「ぼたりか ～ぼーたのとびだすりかじっけん～」の第一弾がリリースされた。



まずは「電気分野」から公開を開始。アプリとは別に「ARマーカー」をダウンロードして印刷し、切り離す。マーカーには、電池や電球、電流計などがあり、それらを机の上に用意し、

アプリをインストールしたスマートフォンやタブレットをマーカーにかざしながら実験を行う。第二弾は「力学分野」。iOS版も続いてリリースされ、より多くの方に使ってもらえるようになった。対象は主に小学校高学年から中学生。理科が苦手な人も、楽しみながら実験を重ね、理解を深めてほしい。



「macho」全4号発刊！

女子大生にキャリアを考えるきっかけを提供するフリーペーパー「macho」。プロジェクト発足まもなくVol.1の制作に追われ、入稿と同時に夏に発行するVol.2の取材や協賛企業への営業に追われ、そして…と常に締切に追いかけられた1年間。合計4冊のフリーペーパーを発刊、女子大生の手元に届けてきた。

同じ大学生だからわかる悩みや葛藤、自分達が知りたいこと、まわりの女子大生達が求めていることを誌面に詰め込む。想定外に大変なこともあり、心が折れそうになったこともあったが、各号とも、コンテンツとあわせて、つくりたい気持ちやみんなで作る楽しさも伝わる誌面に仕上がっている。

